

第5回 にぎわい拠点整備WGの開催結果			
日 時	平成25年1月29日(火) 10:00~12:00		
場 所	亀岡市役所 3階 302・303会議室		
出席者	<p>京都市立芸術大学 教授 藤本 英子 グループ長 亀岡市観光協会 事務局長 栗山 健 副グループ長 亀岡商工会議所 観光委員長 奥村 邦夫 保津川遊船企業組合 代表理事 工藤 正 篠町安全・安心のまちづくり推進会議 会長 藤田 修 亀岡地区東部自治会 会長 小川 博 亀岡地区西部自治会 会長 櫻井 邦男 亀岡防犯推進委員連絡協議会 上田 一夫 公益財団法人亀岡市体育協会 専務理事 山田 百十 公募委員 細川 武 亀岡ライオンズクラブ 会長 中川 修 (オブザーバー) (欠席4名)</p> <p>亀岡市観光戦略課 増田主幹 // 桂川・道路整備課 並河課長、柴田参事、関口係長、竹村主査</p> <p>京都府南丹土木事務所 河川砂防室 星野室長、井尻副室長、中主査、神原副主査 (欠席1名)</p>		
内 容 (次第)	<p>1) 開 会 2) 議 事 ○前回の概要 ○さくら広場のシンボルツリーについて ○山本浜の再生について(前回ワークショップ結果のとりまとめ) ○他のワーキングの検討状況について ○その他 3) 閉 会</p>		
結 果	<p>○保津川さくら広場について、シンボルツリーをシダレザクラに決定。今後、平成25年度の秋以降の整備工事に向けて準備を進める。</p> <p>○山本浜について、今回出た意見をもとに計画案を修正し、来年度に実施設計を進める。</p> <p>(主な意見)</p> <p>【保津川さくら広場について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンボルツリーは広場の名称やイメージに合うシダレザクラがよいのではないか。 ・保津川さくら広場でも保津川の歴史を発信することが必要ではないか。 <p>【山本浜の再生について】</p> <p><多目的スペース></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工的な整備を行わず、自然な設えとするのがよいのではないか。 ・子供は自分で遊び方を考えるので、設置するのは築山程度でよいと思う。 ・BBQでの利用を想定した水飲み場の設置は難しいと思う。BBQでの利用を規制をすることが必要である。 <p><駐車スペース></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を大切にするという観点から、車が進入しないようにするため、山本浜には駐車スペースを設けず、トロッコ亀岡駅前の高水敷で検討している駐車・駐輪スペースを利用するという考え方でよいのではないか。 		

<休憩・眺望スペース>

- ・平板舗装などの線が入る舗装ではなく、土系自然舗装で手の加わっていないデザインがよいのではないか。

<情報発信スペースについて>

- ・情報発信スペースを設けるのではなく、眺望スペースで自然に情報発信できるサインや看板を考えてはどうか。

<水辺スペース>

- ・現在ある砂州などの河川形状ができるだけ変わらないようにしてほしい。
- ・飛び石については、子供など利用者の安全面が心配であるが、整備計画案には含めておき、安全確保策について検討を進めてはどうか。
- ・柵の外にある低木の植栽はあった方がいいと思う。

<園路>

- ・かつての異人街道は山本浜手前までの道のことを指すので、多目的スペースの中には園路を整備しなくてもよいのではないか。
- ・ラフティングのボートなどを運搬できる通路はあった方がいい。
- ・一般車両の進入を制限するかどうかの検討をする上では、馬車の運行経路のことも含めて考える必要がある。

<運営・維持管理について>

- ・山本浜は現在でもラフティングでの利用が多いため、整備後にラフティングの利用のみになってしまわないように、利用上のルールなどについて議論する必要がある。
- ・維持管理を継続するには組織が必要だと思う。
- ・山本浜を利用する団体が徐々に維持管理を担うようになっていくのがよいのではないか。
- ・アダプト制度でよくあるように、立札などで維持管理の取り組みを示すことで、ゴミのポイ捨てが減るかもしれない。

